

# 販売戦略室

## 【主な所掌事務】

(販売戦略チーム)

- ・ 部内の流通販売戦略の総括
- ・ 農産物等のマッチング
- ・ 生産者、JA等の販路拡大支援
- ・ 農産物の輸出促進（窓口）



事業名	県産農産物販売力強化事業		担当	販売戦略チーム
事業年度	令和4～7	事業主体	県、農業者等	
事業目的	農業法人等の販路の多角化と販売力の向上を図るため、実需者ニーズに対応したマッチング活動を支援する。		財源	当初予算額
			諸収入	19,192千円
			一般	49千円
				19,143千円
実施内容	1 県産農産物マッチング支援事業		13,113千円（◎49千円、◎13,064千円）	
	マーケットインの産地づくりや販路の多角化を推進するため、実需者ニーズの把握を強化するとともに、生産者等の販路開拓をサポートする。			
	(1) 実施内容 企業開拓員を配置し、首都圏の実需者ニーズを収集 マッチング推進員を配置し、県内生産者の実需者ニーズへの対応を支援 秋田県農産物流通販売戦略推進会議（生産者代表、集出荷団体、量販店等）の開催			
	2 企業ネットワーク活用促進事業		2,340千円（◎2,340千円）	
県産農産物の販路拡大を図るため、本県と縁のある県外企業と連携し、消費者向けの食のイベントを実施する。				
(1) 実施内容 企業と県内生産者をオンラインでつないだ県産品・産地紹介イベントの開催 企業の組合員向けECサイトでの県産農産物等の販売 包括連携協定企業との協働活動による認知度向上				
3 農業者等販路多角化推進事業		3,739千円（◎3,739千円）		
自ら販路の開拓に取り組む農業者等を対象とした実践的な研修等を実施する。				
(1) 販売基礎研修事業				
①実施内容 マーケティングの基礎や農産物のブランド化、情報発信力・集客力の向上等の研修				
(2) 販売力ステップアップ支援事業				
①実施内容 商談技術や模擬商談等の研修				
(3) 販売力向上実践事業				
①助成対象 首都圏バイヤー等との対面商談、首都圏商談会への出展、販路開拓活動				
②補助率 1/3以内（上限15万円）				

事業名	農産物グローバルマーケティング強化事業【地域活性化対策基金】	担当	販売戦略チーム
事業年度	令和4～7	事業主体	県、農業者等
事業目的	県産農産物の輸出を促進するため、海外への販路拡大とブランド化に向けた取組を推進する。	財源	当初予算額
		内	繰入金
		内	
		訳	
実施内容	1 輸出拡大促進事業	10,695千円 (ⓐ10,695千円)	
	輸出企業と連携して輸出先国の需要拡大に向けたプロモーションを行うとともに、新規品目等での調査・実証に取り組む。		
	(1) プロモーション活動による既存商流の拡大と新たな需要の開拓		
	①実施内容 小売店でのPR販売(台湾、タイ)、飲食店等へのねぎのプレゼン会(台湾)		
	②対象品目 台湾向け りんご・ねぎ・ぶどう		
	タイ向け りんご・ぶどう		
	(2) 新規品目のための調査・実証		
	①実施内容 12月以降の出荷に向けた長期保存技術の実証		
	②対象品目 ぶどう(台湾)		
	2 輸出産地育成事業	2,456千円 (ⓐ2,456千円)	
	輸出に取り組む農業者等を育成するため、輸出への意識醸成や果樹産地における輸出対応技術の普及を図る。		
	(1) グローバル販売戦略研修会の開催		
	実施内容 生産者やJA職員等を対象とした、輸出先進事例等に関する研修		
	(2) 果樹の輸出産地モデルの育成		
	①実施内容 りんごの品質保持に関する研修(鹿角・北秋田・由利(輸出実施地区等))		
	果実の簡易くん蒸処理施設整備への支援(北秋田)		
	②助成対象 果実の簡易くん蒸処理施設整備		
	③補助率 1/2以内(上限150千円)		
	3 海外市場ニーズ対応型栽培体系開発事業	765千円 (ⓐ765千円)	
	各国の輸出規制の厳格化に対応した果樹栽培体系の構築を図る。		
	(1) 実施内容 ネオニコチノイド系農薬を使用しない防除体系の確立等		
	4 シンガポール輸出ステップアップ事業	11,083千円 (ⓐ11,083千円)	
	シンガポールへの輸出を促進するため、現地でのテストマーケティングやプロモーション、輸出ルートの構築に取り組む。		
	(1) 現地日系企業が主催するイベントへの出展		
	①実施内容 イベント出展による県産品のPR及びテストマーケティングの実施		
	(2) 県産品の試食・プレゼン会の開催		
	①実施内容 輸入業者や飲食店等を対象とした県産食材を使用したメニューの試食会と生産者による食材説明		
	(3) 輸入卸業者が主催する商談会への参加		
	①実施内容 現地の実需者を対象とした商談、営業活動		

事業名	所得に直結！県産農産物まるごとブランディング推進事業		担当	販売戦略チーム	
事業年度	令和4～7	事業主体	認定農業者、農業法人、県等	当初予算額	4,274千円
事業目的	多様化する実需者や消費者のニーズに対応するため、県産農産物のブランド化に向けた取組を支援するとともに、認知度の向上やブランド定着に向けた取組を推進する。		財源内訳	一般	4,274千円
実施内容	1 あきたブランド創出支援事業		1,263千円（○1,263千円）		
	<p>規格・品質等を訴求したプレミアムな商品づくりや、実需者や消費者のニーズを捉えた新たな商品開発を支援し、生産者の所得向上を図る。</p> <p>(1) 高品質・高価格帯のブランドづくり</p> <p>①対象者 卸売業者、仲卸業者、JA等</p> <p>②実施内容 贈答用シャインマスカットの商品化</p> <p>③助成対象 試験栽培、販促資材作成費、バイヤーの産地招へい等</p> <p>④補助率 1/2以内（上限額400千円）</p> <p>(2) 実需者向けの加工業務用のブランドづくり</p> <p>①実施内容 漬物製造事業者や惣菜業者のニーズに対応した品種や出荷規格等の実証</p> <p>②対象品目 はくさい、ばれいしょ</p> <p>(3) 消費者向けの需要を捉えたブランドづくり</p> <p>①対象者 卸売業者</p> <p>②実施内容 端境期を狙った夏ねぎの新商品づくり 出荷規格や荷姿、商品規格の改良、量販店での販促</p> <p>③助成対象 販促資材作成費、試食宣伝、プロモーション経費等</p> <p>④補助率 1/2以内（上限額400千円）</p>				
	2 ブランド育成プロモーション事業		3,011千円（○3,011千円）		
	<p>県産農産物全体のイメージアップと販路拡大を図るため、県内外の量販店でフェアを開催する。</p> <p>(1) 実施内容 首都圏・関西圏での県産農産物フェアの開催 県内での販促ツールを活用した販売促進</p> <p>(2) 実施時期 首都圏、関西圏：8月、県内：随時</p>				

